

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

美幌町共同募金委員会・ありがとう通信 第1号



発行：美幌町共同募金委員会（会長 杉原 重美） ☎ 72-1165

美幌町字東2条北2丁目25番地 役場庁舎1F8番（社福）美幌町社会福祉協議会内

あなたと私は、
赤い羽根でつながっている。

今年も赤い羽根共同募金

・歳末たすけあいのご協力をお願いします

10/1(金)～12/31(金)

75回目の赤い羽根の共同募金運動がはじまりました。長引くコロナ禍で、みなさん大変ご苦労されていることと拝察いたします。「こんな時だからこそ」たすけあいの仕組みである赤い羽根募金でつながり、まちを良くしていこうではありませんか。昨年みなさまから寄せられた浄財に感謝の意を伝えたく「ありがとう通信」第1号を発行しました。今年も皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



会長 杉原重美



美幌高校ボランティア同好会
左：高丸 葵音寧(たかまる あおね)さん
右：前田 愛依(まえだ めい)さん

意外と知られていない、赤い羽根募金の話

募金の約60%は、美幌の町を良くするために

昨年、美幌町では、各自治会をとおしての戸別募金、法人・事業主の方々からの企業募金、学校募金、街頭募金、篤志募金などで3,264,734円ものご協力をいただきました。ありがとうございました。集まった募金の約60%、1,897,734円は美幌町内で使われています。残りの40%、1,367,000円は美幌町を超えて北海道内で広域的に使われています。

美幌町内で使われる募金（配分金）の用途

※裏面「ありがとうメッセージ」をご覧ください。

災害にも共同募金は使われています

大規模な災害が起こった時の備えとして、募金額の一部が「災害等準備金」として、北海道内で広域的に使われる募金から積み立てられています。この積み立ては、大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、被災者を応援するために使われます。

福祉を支える社会貢献活動に使われています

共同募金は、たすけあいチームの活動費、身体障害者福祉協会など福祉団体の運営、高齢者などのサロン、視覚障害者への朗読テープ吹込みボランティアなど草の根のボランティア活動費用など、様々な民間社会福祉活動を支援しています。



募金活動にご協力いただいている昨年の様子

「歳末たすけあい」も共同募金の一環です

12/1～12/31は、赤い羽根共同募金運動の一環として「歳末たすけあい」にもご協力をいただいています。昨年は1,251,610円の募金をいただきました。歳末たすけあいは、全額町内の生活支援が必要な263件の方々へ明るい年越しを迎えていただけるように配分しました。



裏面をご覧ください

共同募金は、都道府県ごとに行われ、地域の課題を解決するための様々な活動を行う団体に対して配分(助成)されます。集められた地域で役立てられている「じぶんの町を良くするしくみ」です。みなさんの「やさしい気持ち」に支えられ美幌町内で活動する、配分(助成)を受けた団体から「ありがとう」のメッセージが届いています。ここでその一部をご紹介します。

美幌こども食堂



美幌の未来である、こどもを中心とした食堂型の地域共生サロンです。

私たちの運営と活動は、皆様の善意と多くのボランティアのご協力で成り立っています。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、人と人とが距離を取り、接触する機会を減らすことが求められ、コミュニケーションが取りづらい状況下にあります。こんな時だからこそ、つながりや、見守りを絶やさないまちづくりの継続が必要だと思えます。赤い羽根募金の配分金により、コロナ対策をしながら、社会的孤立や貧困に立ち向かう活動ができています。赤い羽根ありがとう!

(代表 大屋 充)

(NPO) 絆一びほろ



「出会い ふれあい そして 絆へ」を心に、生活支援をしています。

絆一びほろは、たすけあいの精神に基づき、心身に何らかの障がいを持つ方や高齢者の方々が健康で安心して長生きを楽しめる生活を送っていただけるよう生活支援を行っています。私たちは運営費に乏しい有償ボランティアの団体ですが、赤い羽根募金の配分金により私たちの活動を広く町民に知っていただくパンフレットを作成することができました。これにより何らかの生活支援が必要な方々に、絆一びほろと出会っていただけることにつながります。

赤い羽根ありがとう!

(理事長 菅原 英子)

男談農園



農作業をとおして、つながりと絆を深める男性高齢者サロンです。

男談農園は、男性が集まって談笑し、だんだんに仲間が増えていくことを願ってのネーミングです。男性高齢者会員が農作業をとおして、交流とつながり、絆を深め、お互いに助け合い、支え合い、見守り合える地域づくり活動をしています。赤い羽根募金の配分金で農機具デルタホー三面式(鋼付)を5本整備することができました。これにより立って草刈りなどができ、年齢、体力に関係なく、会員が楽しく作業活動することができています。赤い羽根ありがとう!

(農場長 太田 博美)

【町内福祉団体への配分先(単位:円)】美幌町老人クラブ連合会100,000、美幌町身体障害者福祉協会50,000、たすけあいチーム(32チーム)活動助成金650,000、美幌町ボランティアセンター55,000、小中高等学校ボランティア活動230,000、ふきのとう30,000、声のふれあいネット30,000、保護司会60,000、まなざし15,000、美幌町赤十字奉仕団40,000、フレンズ30,000、ハート支援ネットワークの会35,000、ナルク美幌からまつ74,700、絆一びほろ70,000、更生保護女性会30,000、美幌こども食堂120,000、元町ふれあいサロン50,000、びほろじ〜・ば〜サークル輝30,000、よりあいデイサービス東栄40,000、男談農園35,000、社協活動・地域支援へ123,034/合計1,897,734

【道域配分(単位:円)】社協へ福祉車両1,771,000